

第2回ルート検討委員会(小松拡幅)

平成31年3月25日

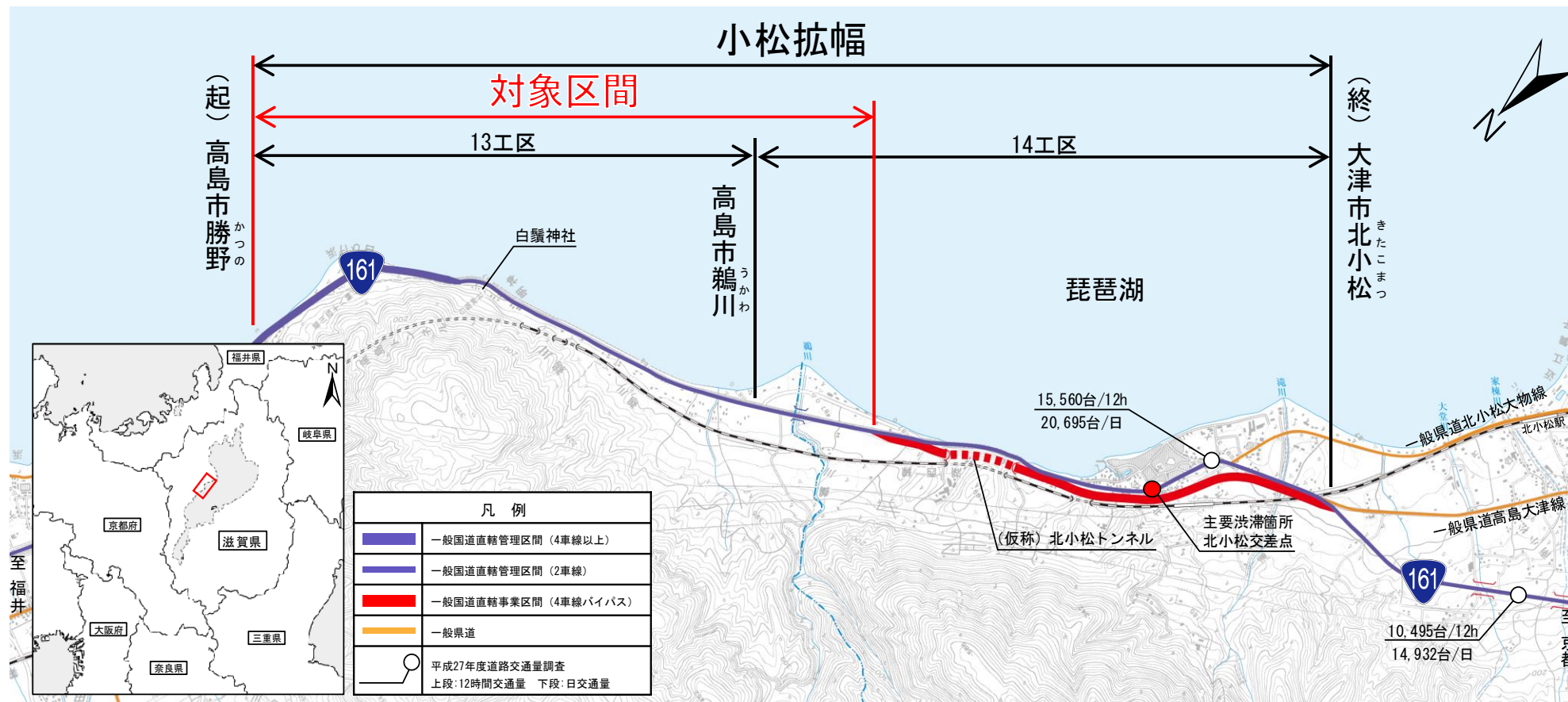
本日も審議いただく内容

1. 前回までの審議内容
2. 意見聴取の概要
3. 意見聴取の結果
4. 対応方針(案)の検討
5. 自治体への意見照会
6. 対応方針(案) まとめ

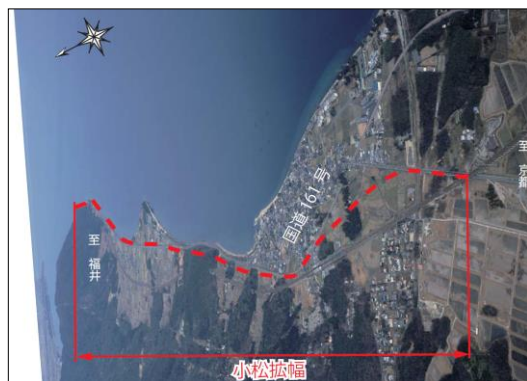
1. 前回までの審議内容

1-1.評価対象区間

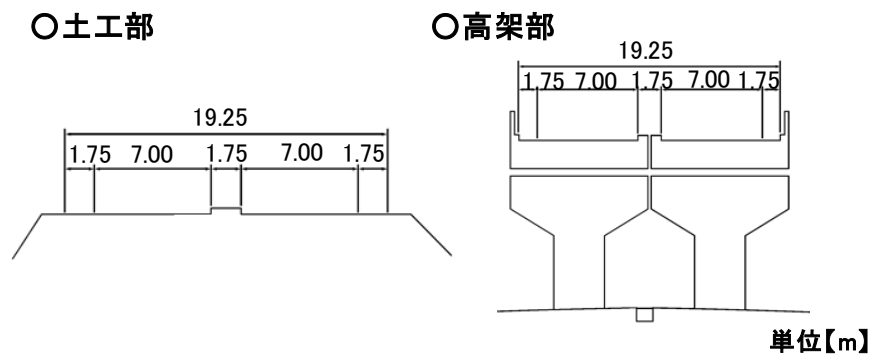
【路線位置図】



【現況写真】



【標準断面図】



【平成30年12月28日】

第1回 ルート検討委員会

【審議事項】

- ◆ルート検討委員会
手続きの進め方
- ◆地域の現状と課題
- ◆政策目標の設定
- ◆複数案の比較評価
- ◆地域への意見聴取
方法



【平成31年1月～2月】

地域の意見聴取

- ◆意見聴取内容
○ルートを検討する
際に重視すべき事
項
- ◆意見聴取方法
《オープンハウス》
《ヒアリング》
対象者：地域住民
自治体
団体



【平成31年3月25日】

第2回 ルート検討委員会

【審議事項】

- ◆地域から聴取した
意見内容の確認
- ◆地域の意見を踏ま
えたルートの計画
についての確認

ルート検討委員会(1回目)の概要

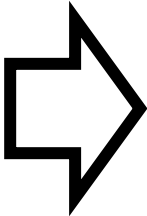
■実施日

平成30年12月28日

■主な議題

- ①ルート検討委員会手続きの進め方
- ②地域の現状と課題
- ③政策目標の設定
- ④複数案の比較・評価
- ⑤地域への意見聴取方法

ルート検討委員会(1回目)での主な指摘事項と対応状況

指摘事項		対応状況
①ルート検討にあたっては、土砂災害や浸水等の災害を回避することが重要である。 ②滋賀県の実施計画の中で、健康しが推進プランやびわ湖の取組があり、車だけでなく自転車の安全性を考慮したルート選定が必要。 ③山側バイパスルートの場合、現道の交通量が減少することから、地域住民の琵琶湖への親水性が高まることも評価すべき。 ④山側バイパスルートの場合、観光や景観の観点から現道の活用を考慮すべき。		①災害時の代替路についてはルート検討事項に含まれており、オープンハウス等のご意見を参考に検討していく。 ②自転車の安全性について、ルート検討事項に含まれており、オープンハウス等のご意見を参考に検討していく。 ③琵琶湖への親水性については、複数案の比較表に反映した。 ④現道の活用については自治体と調整を図っていく。

1-4.政策目標と留意事項(案)

地域・道路の課題

○白鬚神社は日本遺産に認定され、観光客は増加傾向。高島地域全体で見ると横ばい傾向。

○湖西地域の広域道路網では、小松地域のみ2車線で混雑度が高く、休日に渋滞が発生するため、白鬚神社等の観光ポテンシャルが低下。

○白鬚神社前で事故が集中（事故が増加）するため、白鬚神社前をレッドゾーンとして指定。

○びわ湖一周サイクリング利用増加に伴う自転車走行環境の改善。

○大雨発生による琵琶湖浸水が懸念。

○大規模災害による土砂災害が懸念。

○「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」等が施行・策定。重要文化的景観の保全及び整備等が盛り込まれた。

観光振興による 地域活性化

- 通過交通（京阪神方面）と生活・観光交通の円滑化（渋滞解消）
- 国道161号のトラフィック機能と観光交通等の現道活用を確保

交通事故の 軽減

- 白鬚神社付近の交通事故多発地域における通過交通の排除による事故の削減

災害に強い まちづくり

- 災害時に機能するネットワークの確保（リダンダンシーの確保）

琵琶湖の 保全・再生

- 琵琶湖再生計画との整合

政策目標

留意事項

1-4. 政策目標(案)(※は留意事項)

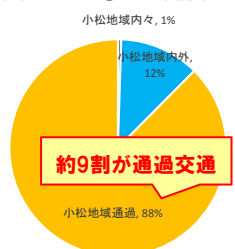
観光振興による地域活性化

- 通過交通(京阪神方面)と生活・観光交通の円滑化(渋滞解消)
- 国道161号のトラフィック機能と観光交通等の現道活用を確保

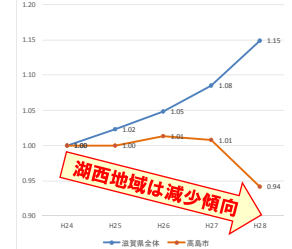
▼高島市の主な観光資源



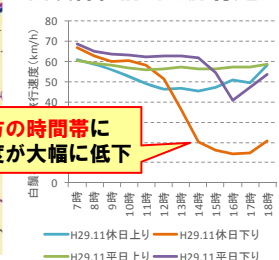
▼国道161号の交通内訳



▼観光入込客数の推移の比較



▼白鬚神社前での旅行速度



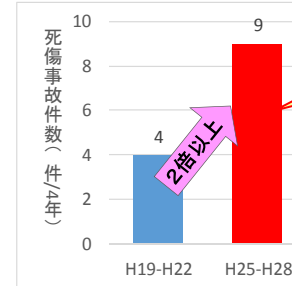
▼白鬚神社付近の渋滞状況



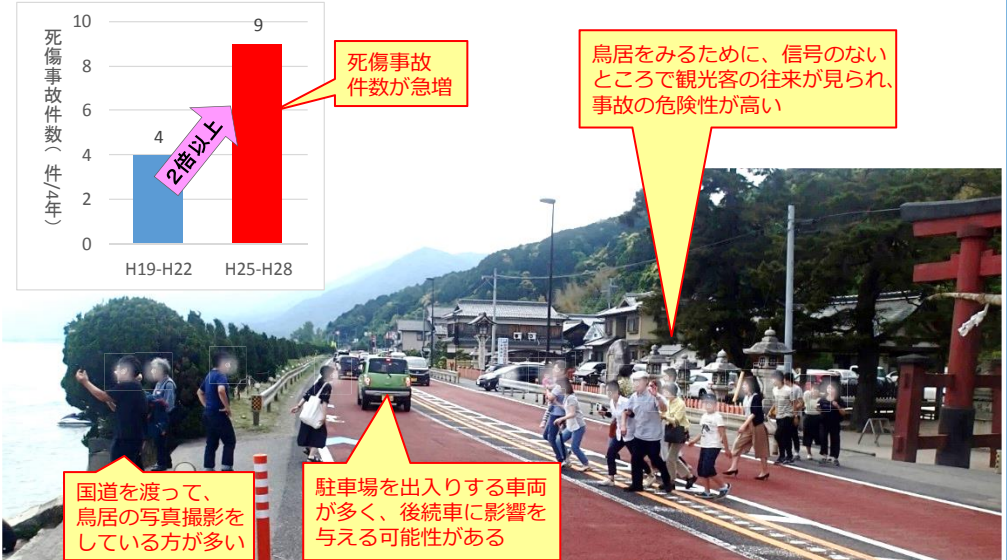
交通事故の軽減

- 白鬚神社付近の交通事故多発地域における通過交通の排除による事故の削減

▼死傷事故件数の推移

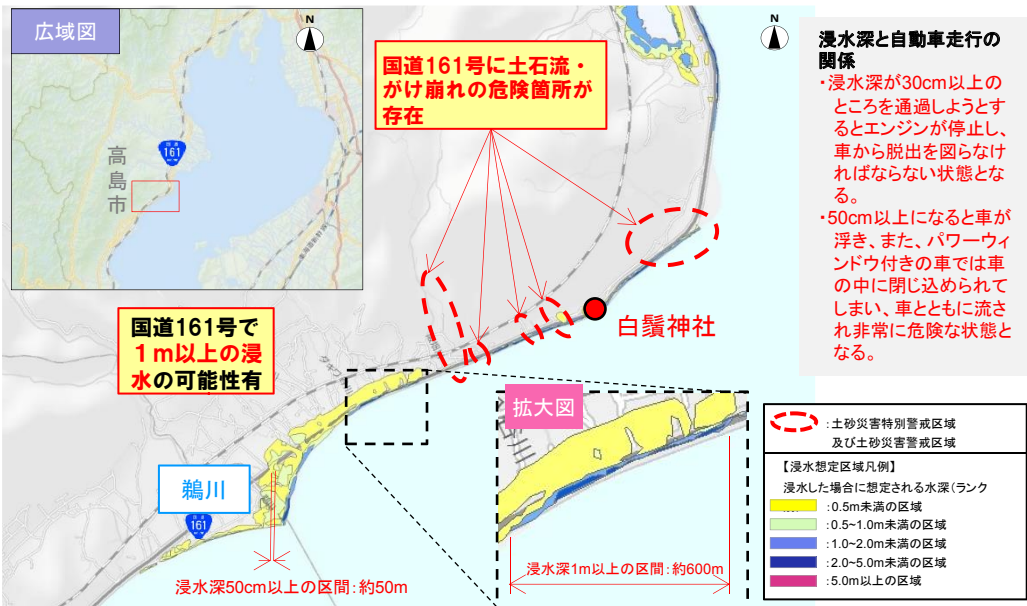


▼現地状況(観光客の往来・駐車場の利用状況)



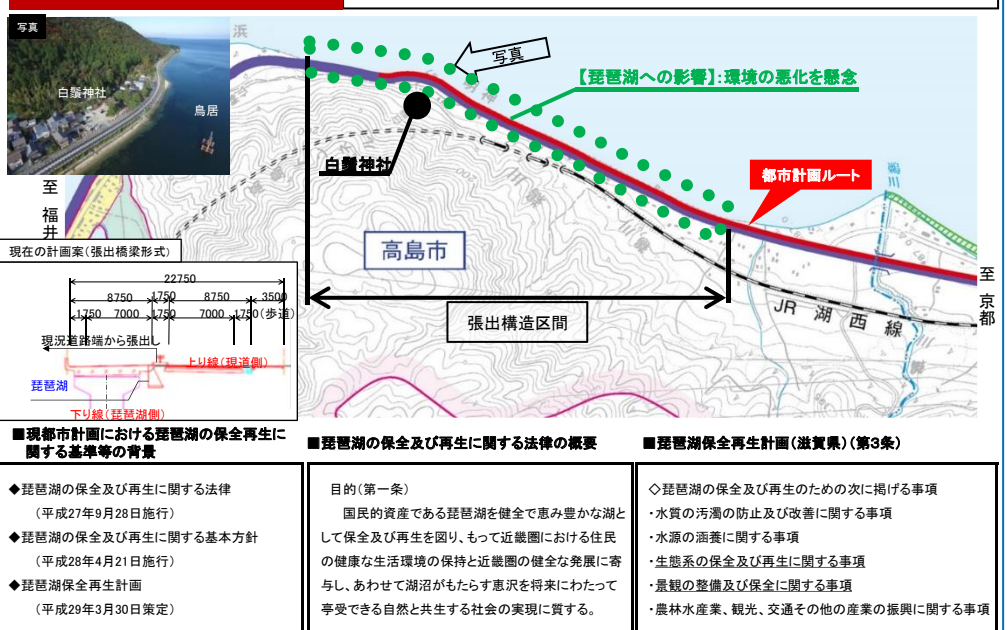
災害に強いまちづくり

- 災害時に機能するネットワークの確保(リダンダンシーの確保)



※琵琶湖の保全・再生

- 琵琶湖再生計画との整合



2. 意見聴取の概要

2.意見聴取の概要

■意見聴取は、自治体・団体ヒアリング、オープンハウスなど、以下の内容を実施した。

対象	意見聴取方法	実施期間	対象の詳細	回答状況
地域住民	オープンハウス	平成31年2月4日（月） ～2月11日（月）	・オープンハウス 高島市：高島市役所（2/6～7） 道の駅藤樹の里あどがわ（2/9～10） うかわファームマート（2/10～11） 大津市：北小松公民館（2/4）	オープンハウス 意見聴取： 522人
自治体	ヒアリング	平成31年1月22日（火） ～1月29日（火）	滋賀県、高島市、大津市	3自治体より
団体	ヒアリング	平成31年1月24日（木） ～2月8日（金）	警察、消防署、観光協会、 商工会議所、バス協会、トラック協会	8団体より
住民代表	ヒアリング	平成31年1月23日（水） ～2月4日（月）	地域住民代表、自治会長	4人より

2.意見聴取の概要

■オープンハウス・ヒアリング実施内容

問1 普段、白鬚神社周辺の国道161号をどの程度利用していますか？

該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

1	ほぼ毎日（週4～7回）	2	週に数回程度（週2～3回）
3	月に数回程度（週1回未満）	4	ほとんど利用しない
5	利用したことがない→「5」に○をつけた方は、問4へお進みください。		

問2 白鬚神社周辺の国道161号を通行する際の主な交通手段は何ですか？

該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

1	自動車
2	公共交通（バス、タクシー）
3	バイク
4	自転車
5	徒歩

問3 白鬚神社周辺の国道161号を通行する際の主な目的は何ですか？

該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。
その他を選択された方は（ ）内に具体的な内容をお書きください。

1	通勤・通学
2	仕事（営業・商談・運送など）
3	私用（買物・食事・通院など）
4	レジャーなど
5	その他 （ ）

問4 ルートを検討する際に重視すべき事項は何ですか？

①ルートを検討する際に重視すべきと考えられる下記事項について、5段階（そう思う～わからない）で評価してください。
A～Gのそれぞれについて、該当する箇所に1つだけ○をつけてください。

重視すべき事項		そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない	わか ら ない
A	安定した移動時間で目的地まで早く行くことができ、かつ観光施設間の連携が強化されること	1	2	3	4	5
B	交通事故が少なく、現道を安全に走行できること	1	2	3	4	5
C	災害時の緊急輸送路としての機能が確保できること	1	2	3	4	5
D	白鬚神社や琵琶湖などの周辺景観への影響が小さいこと	1	2	3	4	5
E	工事中における通行規制などによる現道への影響が少ないこと	1	2	3	4	5
F	湖岸を含む琵琶湖の自然環境に与える影響が小さいこと	1	2	3	4	5
G	整備費用が小さいこと	1	2	3	4	5

②あなたが、上記事項を重視すべきと思う理由や、上記以外で重視すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

問5 あなたご自身の事について教えてください。

お 住 ま い	性 別	年 齢
____都・道・府・県____市・区・町・村 〒____-	男性・女性	____歳

～ご協力、ありがとうございました～

2.意見聴取の概要【広報活動(オープンハウス)】

■広報活動(オープンハウス)

○記者発表
平成31年1月22日(火)

新聞掲載 4社

○広報用チラシ・ポスター

- ・高島市(新旭区、打下区、安曇川区、鵜川区)でのチラシ配布
- ・大津市(北小松自治会、滝川の会)でのチラシ配布
- ・会場付近でのチラシ配布・ポスター掲示

○その他

- ・高島市役所、大津市役所でのチラシ設置・ポスター掲示

◆チラシ・ポスター

国道161号 小松拡幅13工区【高島市勝野～大津市北小松】

道路計画に関するご意見をお聞かせください



出典：国土地理院地図を加工

国道161号小松拡幅13工区の道路計画を進めるにあたり、下記の日時、場所において、オープンハウス(パネルの展示と合わせスタッフが説明)を行います。
「ルートを検討する際に重視すべき事項」等について、皆様のご意見をお聞かせ下さい。

開催日時 いずれの会場も11時～16時まで

大津市

2月4日(月) 北小松公民館

高島市

2月6日(水)～2月7日(木) 高島市役所

2月9日(土)～2月10日(日) 道の駅藤樹の里あどがわ

2月10日(日)～2月11日(月) うかわファームマート
(建国記念の日)

どなたでもご参加いただけます。
どうぞお気軽にお越しください。

国土交通省
近畿地方整備局 滋賀国道事務所

お問い合わせ・ご意見は
〒520-0803 大津市竜が丘4番5号 TEL: 077-523-1741
担当課：計画課 <http://www.kkr.mlit.go.jp/shiga/index.php>

【表】

会場アクセスMAP

北小松公民館



開催日時

平成31年2月4日(月) 11:00～16:00

開催地住所

大津市北小松384

高島市役所



開催日時

平成31年2月6日(水) 11:00～16:00

平成31年2月7日(木) 11:00～16:00

開催地住所

高島市新旭町北畑565

道の駅藤樹の里あどがわ



開催日時

平成31年2月9日(土) 11:00～16:00

平成31年2月10日(日) 11:00～16:00

開催地住所

高島市安曇川町青柳1162-1

うかわファームマート



開催日時

平成31年2月10日(日) 11:00～16:00

平成31年2月11日(月) 11:00～16:00

開催地住所

高島市鵜川817-1

※ 地図出典：国土地理院地図を加工

【裏】



ポスター掲示



会場付近でのチラシ配布



チラシ設置

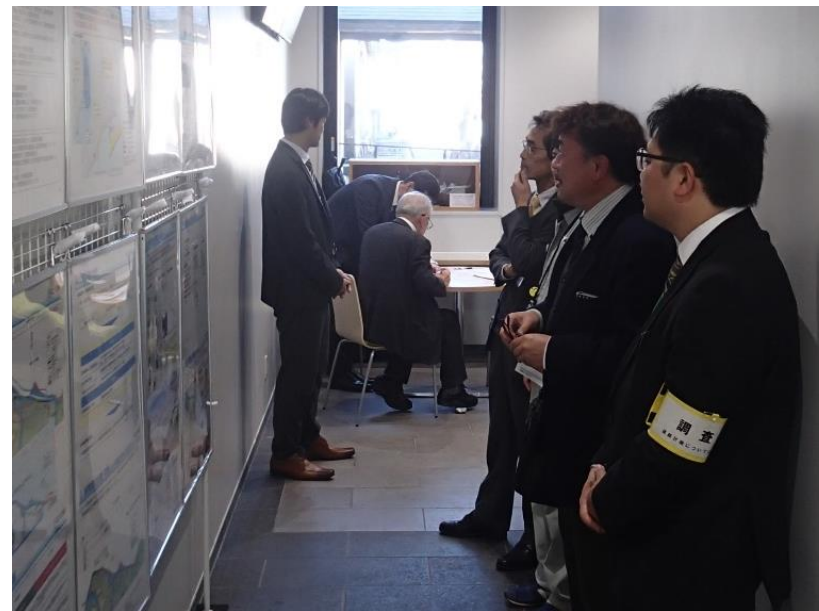
2.意見聴取の概要～オープンハウス～

■オープンハウス実施状況

【平成31年2月4日 北小松公民館】



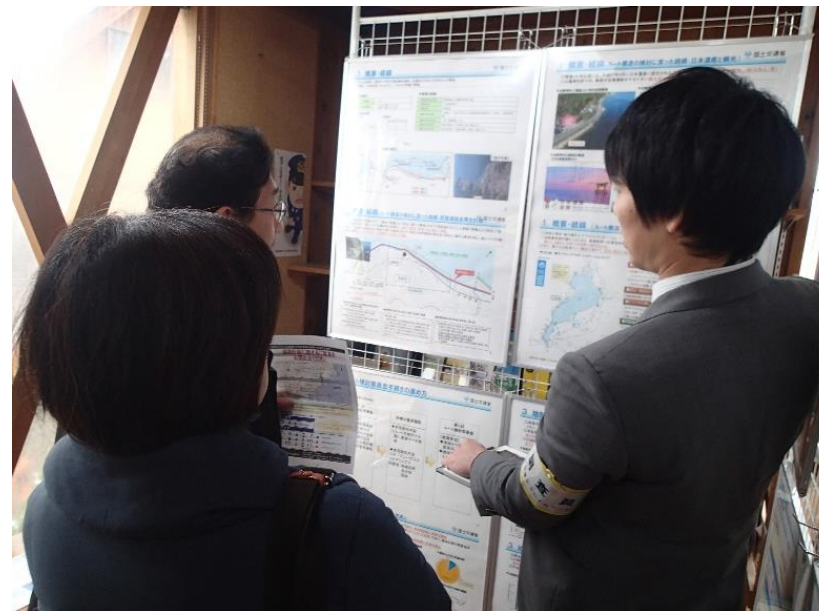
【平成31年2月6日,7日 高島市役所】



【平成31年2月9日,10日 道の駅藤樹の里あどがわ】



【平成31年2月10日,11日 うかわファームマート】



2.意見聴取の概要～ヒアリング～

■ヒアリング実施状況



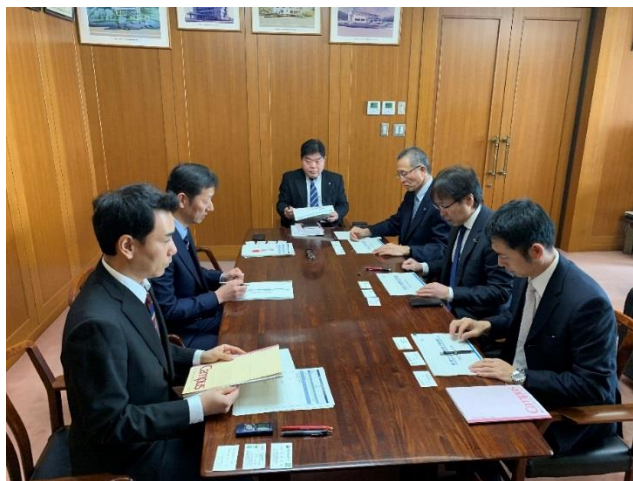
【平成31年1月28日 高島市消防本部】



【平成31年2月8日 滋賀県警察本部】



【平成31年1月24日 びわ湖高島観光協会】



【平成31年1月25日 滋賀県トラック協会】

■ヒアリング実施自治体・団体の内訳

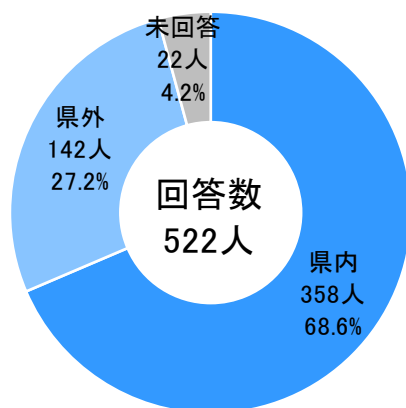
自治体	滋賀県
	高島市
	大津市
団体	滋賀県警察本部
	高島警察署
	大津北署
	高島市商工会
	びわ湖高島観光協会
	滋賀県トラック協会
	滋賀県バス協会
	高島市消防本部
住民代表	高島市鵜川区
	高島市打下区
	大津市北小松自治会
	小松学区連合会

3. 意見聴取の結果

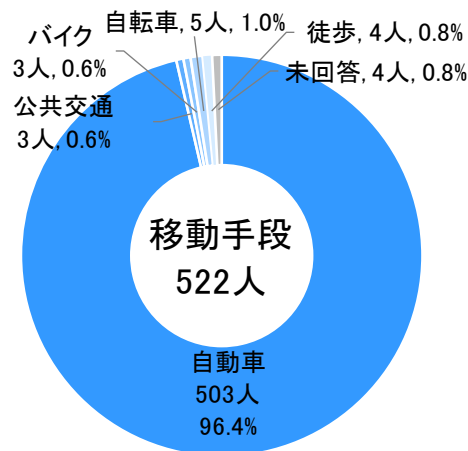
3-1.意見聴取の結果～属性①～

- オープンハウスでは522人からの意見聴取を実施。
- 回答者のうち、滋賀県内の居住者が約7割を占める。
- 回答者の性別は約7割が男性であり、年代としては10代から60代までが約7割を占める。

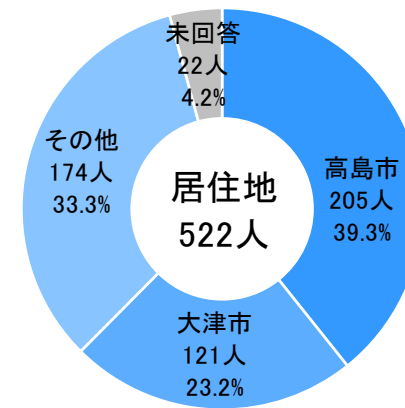
アンケート回収状況



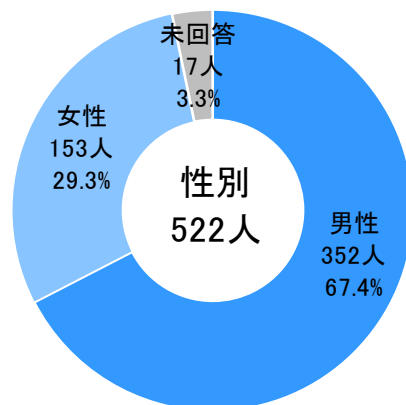
移動手段



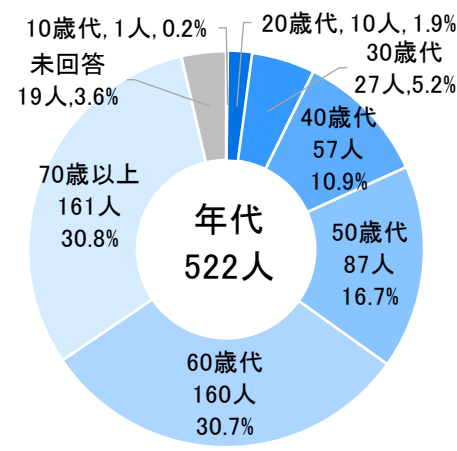
居住地



性別



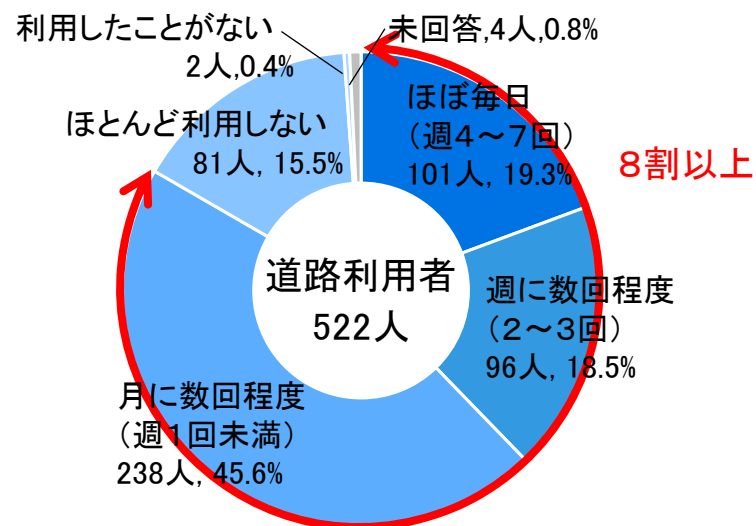
年代



3-1.意見聴取の結果～属性②～

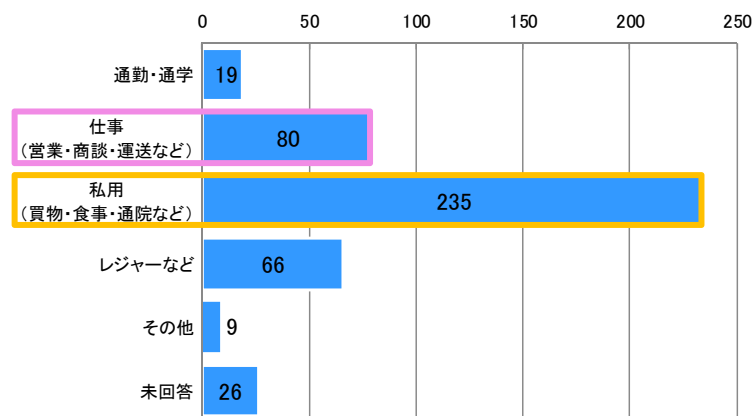
- 回答者の8割以上が当該路線(白鬚神社周辺の国道161号)を「月に数回以上利用している」と回答。
- 道路利用者の利用目的は、「私用(買物・食事・通院など)」「仕事(営業・商談・運送など)」と回答した人が多く、高島市・大津市に住む人が約8割を占める。

現在の国道161号(白鬚神社周辺)の利用頻度

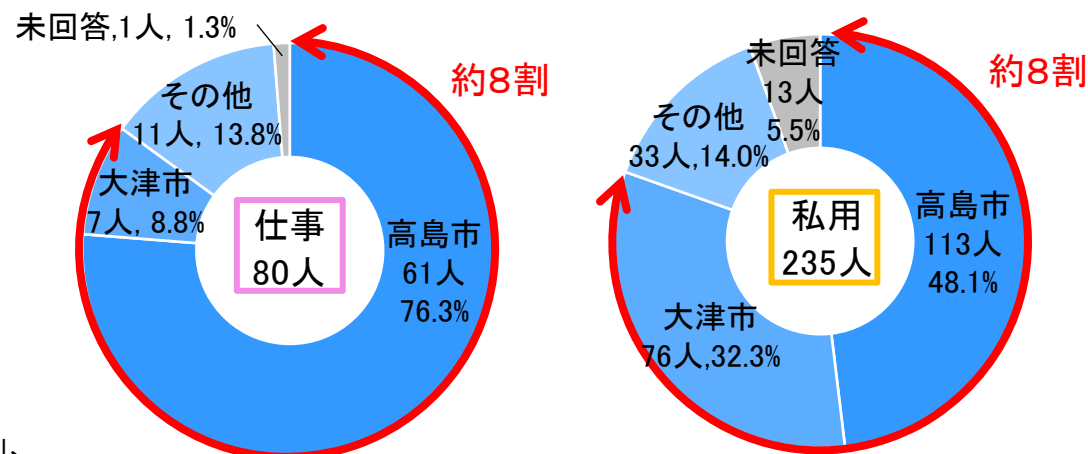


現在の国道161号(白鬚神社周辺)の利用目的

■高頻度利用者の利用目的



■高頻度利用者の利用目的別居住地



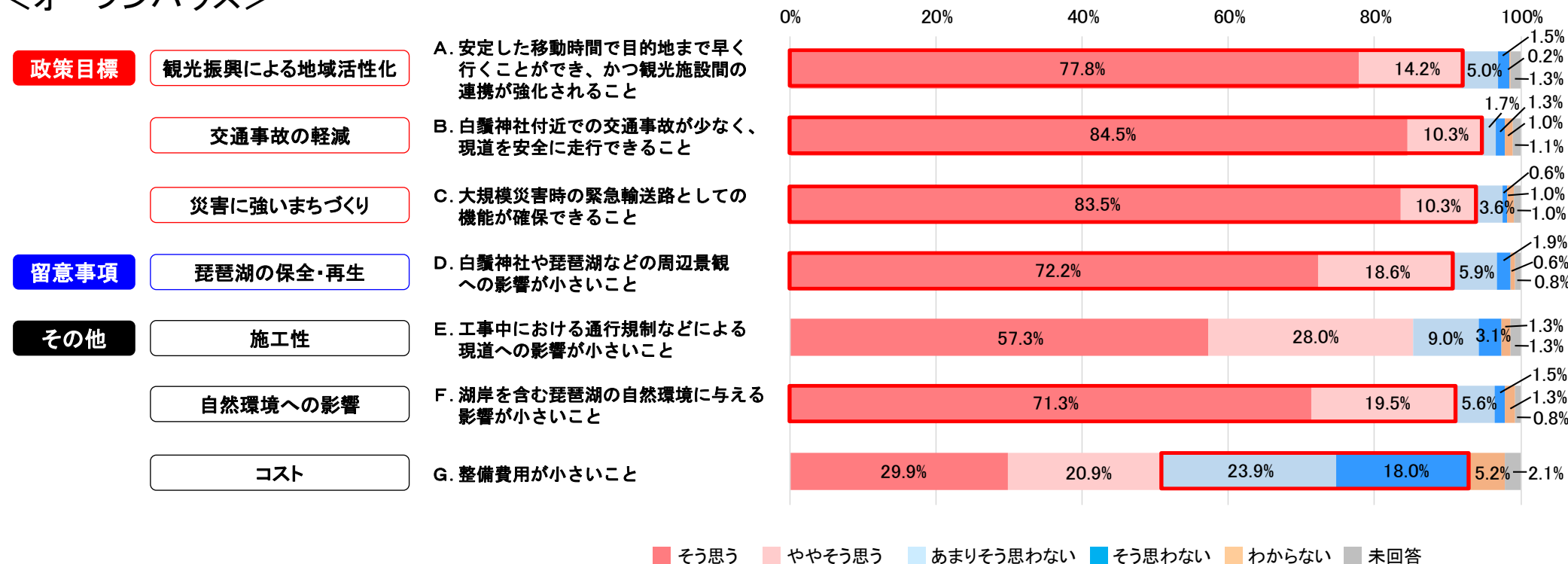
※オープンハウスで利用頻度が「ほぼ毎日(週4～7回)」、「週に数回程度(2～3回)」、「月に数回程度(週1回未満)」と回答された方のみ対象

3-1.意見聴取の結果～重視すべき項目(アンケート)～

■対策案(ルート)を検討する際に、重視すべきと思う事項7項目について、「そう思う」、「やや思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」、「わからない」の5段階で回答。

- 「B 白鬚神社付近での交通事故が少なく、現道を安全に走行できること」について重視すべきと思う意見が最も多く約95%。
- 「C 大規模災害時の緊急輸送路としての機能が確保できること」が約94%、「A 安定した移動時間で目的地まで早く行くことができ、かつ観光施設間の連携が強化されること」が約92%、「D 白鬚神社や琵琶湖などの周辺景観への影響が小さいこと」、「F 湖岸を含む琵琶湖の自然環境に与える影響が小さいこと」が約91%と9割を超える。
- 一方で、「G 整備費用が小さいこと」については、約42%が比較的重視していない傾向が見られた。

<オープンハウス>



N=522

3-1.意見聴取の結果～自由意見(アンケート)～

■ 交通事故に関する意見が最も多く、次いで、工事時期、観光振興に関する声が多い。

分類	自由意見
観光振興による地域活性化に関する意見 【33件】	<u>白鬚神社、北小松周辺の交通が円滑になれば高島市の利便性が図られ発展すると思います。</u>
	最近になり交通量も増え、休日は必ず渋滞し、混雑しているため、早急に対応してほしい。
	白鬚神社～北小松間の渋滞の緩和を重視していただきたい。
交通事故の軽減に関する意見 【49件】	観光での利用が多いとき、駐車待ちの車で通行ができにくく困っています。車道を狭くして自転車道を確保したため、車幅が狭く、接触する危険が多々ある。
	<u>白鬚神社の国道往来は大変危険で道路がカーブしていて往来者が見えにくい。安全な観光スポットと安全な交通道路であってほしい。</u>
	安全面を第一にしていってほしいと思う。
災害に強いまちづくりに関する意見 【15件】	災害の観点からできる限り山里付近(山側)へ迂回して頂きたい。且つ交通渋滞解消願う。
	<u>大規模災害時の避難ルートの確保や救助やスピードアップに、又、物資輸送に大事な部分だと思う。</u>
	災害時通行止めとなるので早期に完了を。
琵琶湖の保全・再生に関する意見 【17件】	周辺景観等への影響が少ない方がよい。
	琵琶湖の公有水面埋立ては避け、景観の維持。ルート決定を早急に行い、決定すれば早期工事着手！
	<u>白鬚神社からの景観は皆好きだと思うのでそれに影響がない方が良いと思います。</u>
施工性に関する意見【5件】	工事期間短く。周辺に迷惑かからないように。
自然環境への影響に関する意見 【14件】	自然は一度破壊してしまうと元に戻らないので、長期的視野が必要。
	<u>自然環境保全はできる限り湖、山ともに考慮してほしい。</u>
	鵜川の棚田の景観、自然への配慮も加味していただきたいです。
コストに関する意見 【17件】	<u>費用的な問題もあるが、安全性を第1に。</u>
	バイパス等はコストがかかるが、それにつりあうだけのメリットがあると考えます。
	コストは重要だがそれだけでなく白鬚神社付近の安全性に十分配慮してほしい。
道路整備に関する意見【12件】	<u>このバイパスができることによりビワイチ専用道路などが整備され観光資源としての価値が高まることに期待する。</u>
工事時期に関する意見【43件】	<u>ルート決定を早急に行い、決定すれば早期工事着手。</u>

3-1.意見聴取の結果～自由意見(ヒアリング)～

■観光振興、交通事故、災害に強いまちづくり等に関する意見を頂いた。

分類	自由意見
観光振興による地域活性化に関する意見	・この地域は産業よりも観光がメインなので、安定した移動ができるようになれば、観光客の増加にもつながるのではないか。(滋賀県) ・移動時間の安定は、計画的な行動において非常に重要なことである。観光するにしても、帰りはともかく行きで混むと計画が崩れてしまう。(高島市) ・休日に発生する大きな渋滞により移動時間がかかるため、観光誘客の大きな障害となる。<u>観光入込客数の伸び悩みは地域経済に大きな影響を及ぼす。</u>(観光協会) ・白鬚神社付近は、毎週末に混雑している。移動時間を読めないと配送先に迷惑をかけることになる。(トラック協会)
交通事故の軽減に関する意見	・追突事故や白鬚神社から出る際に事故が起きており、昨年度もレッドゾーンとして指定されている。神社付近での事故についてはドライバーからも苦情が来ている状況である。(警察) ・数年前に、ドライバー以外の家族が全員亡くなる大規模な交通事故が発生した。二度とこのような事故を起こさないようにし、現道を安全に走行できることが重要である。(高島市) ・<u>観光客の中には、道の真ん中で堂々と止まっている人がおり、さらに大型車が多く車両の走行速度も速いので事故の危険性がある。</u>(商工会)
災害に強いまちづくりに関する意見	・大規模災害時に道路が寸断されると長浜方面からの湖上輸送に頼らざるを得なくなるため、災害に強い道路にしてほしい。(高島市) ・国道161号は高島市にとって生命線である。災害が発生しても通行止めにならないような道路の確保が必要である。(大津市) ・緊急搬送の際に利用できる道路が国道161号と大幅に遠回りを強いられる国道367号しかなく、代替路が必要である。大津赤十字病院を目的として大津方面まで行くこともあるため、早急に道路を作してほしい。(消防)
琵琶湖の保全・再生に関する意見	・滋賀県の琵琶湖保全再生計画の基本方針に定められているため、この項目は重要視する。(滋賀県) ・湖岸側に植えられている桜や紅葉への影響が懸念される。神社から湖岸にかけて石積みがあるが、それは現状を維持したい。山側バイパスルートのほうが影響は少ないのではないか。(住民代表) ・白鬚神社前が4車線となった場合、大きく様変わりし景観を損ね、観光客の減少が懸念される。(観光協会)
施工性に関する意見	・<u>白鬚神社前が渋滞している中で、工事によって現状より渋滞がひどくなると、様々な問題が生じるため、工事による影響が少ないルートが望ましい。</u>(警察) ・現状でも、土日祝日には渋滞が起こっており、これ以上工事規制等による影響は避けなければならない。(観光協会) ・工事期間中に片側交互通行といった形になるとある程度影響があるかもしれないが、多少は仕方ないと考えている。(バス協会)
自然環境への影響に関する意見	・琵琶湖保全再生計画の基本方針に定められているので重要視する。(滋賀県) ・観光資源としての琵琶湖岸に与える影響はもとより、白鬚神社沖の琵琶湖は、漁業にとっては貴重な漁場であり、その自然環境への影響は十分考慮されなければならないと思われる。(商工会) ・自然環境は思わぬことで壊れやすく、大きな影響を与える。とくに高島市では、自然と人々の共存において巧みに利用されてきた。影響を最小限に抑えることを望む。(観光協会)
コストに関する意見	・必要な機能を揃える上で整備費用がかかることは仕方がない。(高島市) ・お金をかけないと良いものはできないのではないか。(住民代表) ・必要な機能を確保するための経費は必要で、金額の問題ではない。仮に現在の想定の倍かかったとしても、やらなければならないことに変わりない。(住民代表)

◇対策案を選ぶ際に重視すべき事項

- オープンハウスでは、「安定した移動時間で目的地まで早く行くことができること」、「交通事故が少なく、現道を安全に走行できること」、「災害時の緊急輸送路としての機能が確保できること」、「白鬚神社や琵琶湖などの周辺景観への影響が小さいこと」、「湖岸を含む琵琶湖の自然環境に与える影響が小さいこと」の割合が9割以上であり、重視すべき事項とするのが妥当。
- 一方、「整備費用が小さいこと」については、オープンハウス結果では4割以上が重視しない傾向であった。
- ヒアリングでは、「安定した移動時間で目的地まで早く行くことができること」、「交通事故が少なく、現道を安全に走行できること」、「災害時の緊急輸送路としての機能が確保できること」、「工事中における通行規制などによる現道への影響が少ないこと」が特に重要であるとのこと意見をいただいた。

まとめ

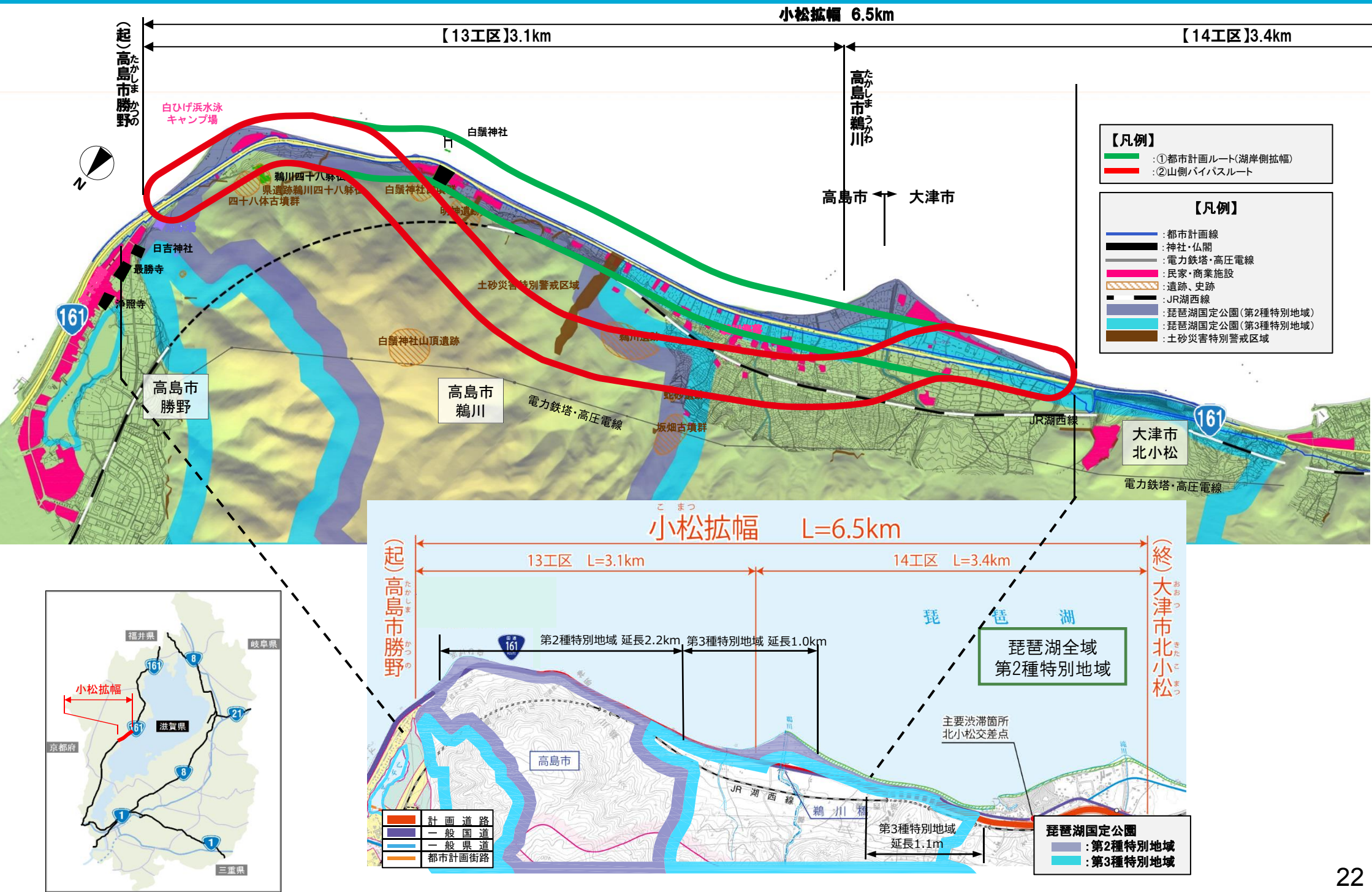
- 小松拡幅事業が渋滞緩和、交通事故の減少、災害時の緊急輸送機能の確保につながると期待している。
- 事業に対しては、琵琶湖などの周辺環境・自然環境への影響や、工事中の現道への影響が小さいことを望んでいる。
- 寄せられた意見の多くは肯定的であり、政策目標は妥当であると確認出来た。



意見聴取の結果を踏まえた対応方針を決定

4. 対応方針(案)の検討

4-1.対応方針(案)の検討<複数案の比較>



4-2.対応方針(案)の検討<複数案の比較評価>

評価軸		現道拡幅案		バイパス案	
		【①案】都市計画ルート（湖岸側拡幅ルート）		【②案】山側バイパスルート	
政策目標	観光振興による地域活性化	△	交通容量の増加(多車線化)に伴い渋滞は解消するが、通過交通と白鬚神社付近への観光交通のトラフィック機能の棲み分けが十分に図られない。	○	通過交通と白鬚神社付近への観光交通について、バイパスと現道でトラフィック機能の棲み分けが図られ、交通容量の増加(バイパス化)に伴い渋滞も解消される。
	交通事故の軽減	△	現道4車拡幅整備のため、通過交通が変わらず現道を利用し、白鬚神社付近の交通事故の軽減がされず、またびわ湖一周サイクリング利用者の危険性が改善されない。	○	通過交通がバイパスに転換し、白鬚神社付近の交通事故の削減がされ、びわ湖一周サイクリング利用者の危険性は改善される。
	災害に強いまちづくり	△	現道4車拡幅整備のため、現道沿いに点在する、大規模災害による被災が懸念される土砂災害特別警戒区域や大雨による琵琶湖の浸水エリアを回避できないため、災害時の緊急輸送路としての機能が確保されない。	○	バイパスにより、現道沿いに点在する、土砂災害特別警戒区域及び浸水エリアを回避することができ、災害時の緊急輸送路としての機能が確保される。
留意事項	琵琶湖の保全・再生	×	湖岸側への現道拡幅により、琵琶湖保全再生計画に基づく湖岸の自然環境の改変を伴い、影響は大きい。	○	バイパスにより、琵琶湖保全再生計画に基づく湖岸の自然環境への影響はなく、現道の交通がバイパスに転換することにより、沿道地域から琵琶湖への親水性が高まる。
その他	施工性	△	民家商業施設が連担する現道での施工となるため、工事中の民家等への近接施工および現道交通の通行規制など影響が大きい。	○	構造物が連続するものの、現道から離れた施工のため、障害物件が少なく、施工が比較的容易である。
	自然環境への影響	×	国定公園である琵琶湖内部への現道拡幅により、湖岸を含む琵琶湖の自然環境への影響は大きい。	△	バイパスにより、国定公園の地形改変が生じるが、その影響範囲は小さい。
	影響する家屋数	○	0棟	○	0棟
延長		約4.1km		約4.6km	
コスト		○	約80億～130億	△	約300億～350億

※比較表の内容は、現時点で想定される概ねのルートの評価を一般的な目安として記載している

凡例 ○:満足する △:一部劣る ×:満足しない

 意見聴取で重視されている項目

5. 自治体への意見照会

5-1.自治体への意見照会＜対応方針(案)に対する意見＞

◇自治体意見照会の回答(要旨)

自治体	意見
滋賀県	国道１６１号小松拡幅における対応方針（案）に同意します。 本路線は、京阪神からのアクセス向上を図り、地域の観光資源を活かした観光振興、交通安全の確保、さらには湖西地域のまちづくりを行う上で重要な道路です。 当該箇所は、琵琶湖の保全・再生、観光振興、交通安全の確保等の観点から現都市計画ルートは困難であると認識しているため、山側バイパスルートに計画を変更することは望ましいと考えます。 つきましては、滋賀県としても都市計画変更およびアセス手続きについては、国や沿線市と協力して円滑に手続きを進めて参ります。 バイパス整備後の高島市勝野～同市鶴川間における現道については、地域の観光施策と琵琶湖保全再生計画を最大限に活かした地域活性化に寄与するものとして、自転車や歩行者に配慮したビワイチルートの拠点となるような道路空間を目指し環境整備を行ってまいります。 地元市とともに沿道の計画的なまちづくりを進めるとともに、関係機関協議や地元調整等に引き続き協力して参りますので、必要な手続きを着実に進め、一日も早い全線の完成に向け、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。
高島市	国道１６１号小松拡幅１３工区のルート検討における対応方針（案）に同意します。 国道１６１号は、琵琶湖西岸断層帯による地震や福井県内の原子力発電所のＵＰＺ圏内にあり、万一の原子力災害の発生に際し避難道路や緊急輸送路として大きな役割を果たす極めて重要な路線であります。当該区間の現計画は琵琶湖への冲出しですが、平成２７年９月の琵琶湖保全再生法の施行により湖岸の埋立による改変を行うことは極めて困難です。 また、１日約２１，０００台の通行量があり、白鬚神社が日本遺産に認定されましたことを契機に来訪者が急増したことに伴い、交通事故が多発し重大事故による事故死亡率も非常に高い状況となっています。 以上のことから、対応方針(案)の山側バイパスルートは琵琶湖岸の保全を考慮し、通過交通を現道から分離することにより当該区間の交通事故の減少が見込まれ、通過交通についても安定した通行ができることから、最適な案と考えられます。 今後は、白鬚神社等の観光施設やビワイチも活かした計画的なまちづくりを進めるとともに、円滑な事業実施環境整備に向けた地籍調査を実施し、関係機関協議や地元調整等につきましても、引き続き協力して参りますので早期整備に向けて必要な手続きを着実に進めていただきますようお願いいたします。
大津市	国道１６１号小松拡幅１３工区のルート検討における対応方針（案）に同意します。 国道１６１号は、滋賀県の湖西地域の観光や産業の振興を支え、更には、災害時の緊急輸送路となる大変重要な幹線道路であるとともに、京阪神地域と北陸地方を結ぶ大動脈となっています。 しかしながら、道路の断面不足による慢性的な交通渋滞が円滑な交通に支障をきたし、地域経済や観光誘客などに影響を与えていることから、本市域においては、湖西道路真野ＩＣから坂本北ＩＣ間の４車線化及び小松拡幅１４工区の事業を推進していただいているところです。 小松拡幅１３工区は、高島市域を主に通過する工区で、沿線には日本遺産に認定された白鬚神社があることから、近年は観光客が増加し交通渋滞や事故の増加に繋がっていると聞き及んでおり、安全対策や自然景観対策を踏まえた計画が重要であると考えるところであります。 当計画におきましては、本市の一部区域の計画にも影響しますことから、今後も地元調整や関係機関との協議に引き続き協力して参りますので、本市及び地域住民の声に十分配慮いただき早期に整備されるようお願いいたします。

◇自治体意見照会の回答(滋賀県)



滋 高 幹 第 10 号
平成 31 年(2019 年) 3 月 18 日

国土交通省

近畿地方整備局長 様

滋賀県知事 三日月 大造



国道 161 号小松拡幅 13 工区のルート検討に係る意見照会について (回答)

平成 31 年 3 月 15 日付け国近整道一計第 118 号で意見照会のありましたこのことについて、別紙のとおり回答します。

別 紙

国道 161 号小松拡幅における対応方針(案)に同意します。

本路線は、京阪神からのアクセス向上を図り、地域の観光資源を活かした観光振興、交通安全の確保、さらには湖西地域のまちづくりを行う上で重要な道路です。

当該箇所は、琵琶湖の保全・再生、観光振興、交通安全の確保等の観点から現都市計画ルートは困難であると認識しているため、山側バイパスルートに計画を変更することは望ましいと考えます。

つきましては、滋賀県としても都市計画変更およびアセス手続きについては、国や沿線市と協力して円滑に手続きを進めて参ります。

バイパス整備後の高島市勝野～同市鵜川間における現道については、地域の観光施策と琵琶湖保全再生計画を最大限に活かした地域活性化に寄与するものとして、自転車や歩行者に配慮したビワイチルートの拠点となるような道路空間を目指し環境整備を行ってまいります。

地元市とともに沿道の計画的なまちづくりを進めるとともに、関係機関協議や地元調整等に引き続き協力して参りますので、必要な手続きを着実に進め、一日も早い全線の完成に向け、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

◇自治体意見照会の回答(高島市)

高 土 第 3 2 4 号
平成31年3月18日

国土交通省近畿地方整備局
滋賀国道事務所 様

高島市長 福井 正明



国道161号小松拡幅13工区のルート検討に係る意見照会について(回答)

平成31年3月15日付国近整滋計第84号で照会のありました標記について、下記のとおり回答します。

記

意見：国道161号小松拡幅13工区のルート検討における対応方針(案)に同意します。

国道161号は、琵琶湖西岸断層帯による地震や福井県内の原子力発電所のUPZ圏内にあり、万一の原子力災害の発生に際し避難道路や緊急輸送路として大きな役割を果たす極めて重要な路線であります。当該区間の現計画は琵琶湖への沖出しですが、平成27年9月の琵琶湖保全再生法の施行により湖岸の埋立てによる改変を行うことは極めて困難です。

また、1日約21,000台の通行量があり、白鬚神社が日本遺産に認定されたことを契機に来訪者が急増したことに伴い、交通事故が多発し重大事故による事故死亡率も非常に高い状況となっています。

以上のことから、対応方針(案)の山側バイパスルートは琵琶湖岸の保全を考慮し、通過交通を現道から分離することにより当該区間の交通事故の減少が見込まれ、通過交通についても安定した通行ができることから、最適な案と考えられます。

今後は、白鬚神社等の観光施設やピワイチも活かした計画的なまちづくりを進めるとともに、円滑な事業実施環境整備に向けた地籍調査を実施し、関係機関協議や地元調整等につきましても、引き続き協力して参りますので早期整備に向けて必要な手続きを着実に進めていただきますようお願いいたします。

◇自治体意見照会の回答(大津市)

大政広 第 5 号
平成31年3月19日

国土交通省近畿地方整備局
滋賀国道事務所 様

大津市長 越 直 美



国道161号小松拡幅13工区のルート検討に係る意見照会について(回答)

平成31年3月15日付け国近整滋計第84号で照会のありました標記の件について、下記のとおり回答します。

記

国道161号小松拡幅13工区のルート検討における対応方針(案)に同意します。

国道161号は、滋賀県の湖西地域の観光や産業の振興を支え、更には、災害時の緊急輸送路となる大変重要な幹線道路であるとともに、京阪神地域と北陸地方を結ぶ大動脈となっています。

しかしながら、道路の断面不足による慢性的な交通渋滞が円滑な交通に支障をきたし、地域経済や観光誘客などに影響を与えていることから、本市域においては、湖西道路真野ICから坂本北IC間の4車線化及び小松拡幅14工区の事業を推進していただいているところです。

小松拡幅13工区は、高島市域を主に通過する工区で、沿線には日本遺産に認定された白鬚神社があることから、近年は観光客が増加し交通渋滞や事故の増加に繋がっていると聞き及んでおり、安全対策や自然景観対策を踏まえた計画が重要であると考えているところではありますが、いずれにしても、本市として当該事業の早期完成を願うものであります。

当計画におきましては、本市の一部区域の計画にも影響しますことから、今後も地元調整や関係機関との協議に引き続き協力して参りますので、本市及び地域住民の声に十分配慮いただき早期に整備されるようお願いいたします。

6. 対応方針(案) まとめ

1. 道路整備の必要性

【理由】

政策目標を実現できる道路整備を検討

【政策目標】

- ◇観光振興による地域活性化
- ◇交通事故の軽減
- ◇災害に強いまちづくり

【留意事項】

- ◇琵琶湖の保全・再生



意見聴取において

- ◇安定した移動時間で目的地まで早く行くことができ、かつ観光施設間の連携が強化されること
- ◇交通事故が少なく、現道を安全に走行できること
- ◇災害時の緊急輸送路としての機能が確保できること
- ◇白鬚神社や琵琶湖などの周辺景観への影響が小さいこと
- ◇工事中における通行規制などによる現道への影響が少ないこと
- ◇湖岸を含む琵琶湖の自然環境に与える影響が小さいこと

について重視すべきという回答が特に多い。

2. 対応方針(案)

『②案』山側バイパスルートを対応方針(案)とする。

【理由】

○『②案』は、全ての政策目標の達成が見込め、意見聴取において重視すべきとの意見が多い「安定した移動時間で目的地まで早く行くことができ、かつ観光施設間の連携が強化されること」、「交通事故が少なく、現道を安全に走行できること」、「災害時の緊急輸送路としての機能が確保できること」という点について、①案より優位である。

○留意事項である「琵琶湖の保全再生」その他の事項のうち「施工性」、「自然環境への影響」を重視する意見も多く寄せられており、このようなニーズにおいても、『②案』が優れている。

3. その他

○具体の道路構造等の検討に際しては、景観・自然環境への影響をできる限り少なくし、コスト縮減等に配慮する。

6.対応方針(案) まとめ

